

自己実現への道

第97回－第8章「信念さえあれば必ず道は開ける」(その1)

★ 周囲をうるおせば自分も潤う

砂漠の奥深く、道路の終点に、無人のガソリン・スタンドが残っていた。かたわらの井戸に旧式のポンプがついていた。

のどの渇きで息絶え絶えの一人の旅人が、よろめきながらこの前哨基地にたどり着いた。井戸に駆け寄ると、水の入った1個のコップが置いてあった、コップの下に1枚のメモが敷かれているのが目に入った。

旅人の方へー

この深い井戸の底には水がたくさんあります。このコップの水をポンプに入れて呼び水にしてください。それから、井戸の底からくみ上げた水を、好きなだけ飲んでください。

十分に飲んだら、コップに水をついで残しておくこと。次の人がのどをカラカラにしてやってくる。どんなことがあっても、このコップの水を飲んではいけません。

さもないと、ポンプの呼び水は二度と手に入りません。

旅人は、メモとコップの水を見比べたが、警告にもかかわらず、衝動にかられて、コップを口元まで持って行った。一瞬たじろいだ旅人は、冷静な理性を取り戻して、メモの指示に従った。

彼はカラカラのポンプに呼び水をそそぎ、ハンドルをもどかしげに動かした。すると、ポンプの蛇口から井戸水が流れ出てきた。

歓喜して彼は飲んだ。心ゆくまで満喫した彼は、コップに水を入れて井戸の上に置くと、メモを残した。

この1オンスのエネルギーであなたの活力の回復を願うならば、まずポンプに呼び水として注ぎ込みなさい。

あなたの今日があるのは、誰かが、どこかで、門出にあたって助力してくれたおかげである。だから、今度は、あなたの成功が後から道を辿ってくれる誰かの役に立つことを祈りたいものである。このような信念をもって、このような態度で生きるならば、人生は決して枯渇することはない。

困っているときにこそ、その人のために尽くせ。そうでなければ、あなたの運勢は好転しがたい

なぜなら、**他人に尽くせば尽くすほど、自分に福が回ってくるという見えざる真理が存在している**からだ。

ただし、心を暗くしていれば、運勢は好転しにくい。これも一つの真理である。とにかく、

常に人のためだと思ふことが、幸福と繁栄への鍵となるのである。

〈MIKO〉

☞ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より